

NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：講演会「きみもグローバルキッズになろう！」
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
3. 日時：平成 28 年 8 月 18 日（木）、19 日（金）10:30-15:00
4. 場所：ハーモニーホール（東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 2 階）
5. 参加者：2 日間合計、小学 3～6 年生 84 名、保護者 37 名
6. 実施報告：

NGO相談員として、小学3～6年生対象に（18日と19日は異なる小学生が参加）途上国の子どもたちを取り巻く課題を写真やケースストーリーで紹介し、参加者が主体的に学びを深められるよう体験コーナー（途上国で実際に使用している道具を使った水汲みやナッツつぶし等）やカルタ作りを実施した。途上国の子どもたちのために今後取り組めることをグループで話し合い発表した。また、保護者を対象に保護者向けプログラムを実施し、国際協力への理解を促進し、日常で子どもと一緒に取り組める国際協力について意見交換を行った。

両日とも「NGO相談員コーナー」を設け質問に答えた。NGO相談員コーナーには、この仕事を選んだ理由、大変なことは何か、やりがいは何か、途上国に行って困ることは何か等の質問が子どもから寄せられた。ある保護者からは小学校で国際協力の話をしてほしいとの相談が寄せられた。

7. 所感：

参加した子どもたちが体験コーナーやグループワークを通して主体的に途上国の子どもたちを取り巻く課題について学びを深めてくれた。発表では全員が自分の言葉で感じたことやこれからの生活で実行していきたいことを伝えてくれた。その姿に保護者からも大きな反響があった。小学生を対象とする場合、途上国の子どもに思いを馳せることができるよう疑似体験やグループワークを中心としたプログラムが有効であると感じた。1日のふり返しシートでも、グローバルな視野やともに生きる価値観、助け合う姿勢を育むことにつながるのではないかと感じられた。

イベント実施に当たって中高生がボランティアとして協力してくれたが、彼らが活躍する姿が小学生にも保護者にも今後の身近なモデルとして良い印象をもたらしていた。保護者向けプログラムでは、ユースプログラムに参加する中学生の保護者が子どもの国際協力への関心をどのようにサポートしてきたかの経験談を語り良い意見交換ができたと思う。何人かの保護者からは、小学生の国際協力への参加機会をもっと増やしてほしいとの要望の声が寄せられた。

8. 別添（写真）



参加した子どもたち。



水汲み体験。



アフリカの生活道具で疑似体験。



グループごとに全員で発表。



大きな写真紙芝居。



中高生ボランティアによるサポート。